

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(7/11)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
次世代自動車・スマートエネルギー特区 (さいたま市)	正	3.4	3.1	3.7	3.3	<p>・ハイパーエネルギーステーション(水素ステーション、充電ステーション)の整備と水素自動車、電気自動車の普及は両輪の関係にあり、両者のバランスを見ながら着実な進展が必要である。</p> <p>・水素ステーション、HES住宅団地開発、パーソナルモビリティ相互が関連するとグリーンイノベーションの先導的な事業となることが期待されるが、事業間相互の連携についての検討、推進の方向性について判断できる情報がないことは、評価指標の再検討等の改善が必要と思われる。</p> <p>・次世代エネルギーのインフラ整備について、民間活用による事業化が進んでおらず、活路が見出しにくい状況。</p> <p>・評価指標(4)(低炭素型パーソナルモビリティの普及台数)は、目標年度までに目標の達成が困難なのであれば、見直しも検討するべきではないか。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。